

研究実施のお知らせ

2026 年 5 月 7 日 ver.1.0.

研究課題名

当院における急性骨髄性白血病に対する治療法に関する後方視的観察研究

研究の対象となる方

2021 年 4 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日の間に、当院で加療を受けた急性骨髄性白血病（一部、骨髄異形成症候群を含む）の方です。

研究の目的・意義

急性骨髄性白血病は、高齢者での罹患率が増加しており、高齢化社会の進む本邦においても患者さんの数が増加しております。以前は、高齢患者さんに使用可能な治療法は限られておりましたが、近年の遺伝子診断の向上や分子標的治療薬などの開発により、治療選択肢は大きく増えています。一方で、どのような患者さんに、どの治療法を選択するかについては、明確な規定はなく、患者さん毎に判断されているのが現状です。

本研究では、実際の治療を受けた急性骨髄性白血病の患者さんの治療方法やその選択方法、治療経過、実施された治療の順序などを詳細に調べることで、実診療における最適な治療戦略を確立することを目標とします。

研究の方法

この研究は、京都第一赤十字病院で行います。対象となる患者さんのカルテ情報を用いて、疾患の特徴、治療内容、患者さんの予後・合併症などを検討します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。具体的な個人情報の取り扱いについてですが、研究用に収集する情報を患者さんの氏名や患者 ID（診察券番号）とは、きりはなして保管します。その際、収集した情報が全く誰のものかわからなくなってしまうと、正しく情報が収集されたか確認できなくなるため、ひとりひとりの情報ごとに研究用に新しく符号をつけます。個人と符号化された情報を対応させる対応表は、研究責任者が厳重に管理し、他の機関へ提供されることはありません。

今回、カルテから収集する情報は以下のとおりです。

- ① 年齢、性別、身長、体重、背景疾患、病型など
- ② 診断時および治療経過中の検査データ（血液、骨髄所見、他）
- ③ 画像検査データ（CT、PET-CT、その他おこなわれた画像検査）
- ④ 実施された治療内容（輸血の有無などを含む）
- ⑤ 臨床経過（再発有無、再発後治療、死因など）
- ⑥ 治療に伴う有害事象
- ⑦ 生存期間
- ⑧ その他

研究の期間

2026 年 5 月 20 日～2029 年 12 月 31 日

研究組織

●研究代表者（総括責任者）

京都第一赤十字病院 血液内科 内山 人二

●研究分担者

京都第一赤十字病院 血液内科 古林 勉

京都第一赤十字病院 血液内科 岩井 俊樹

京都第一赤十字病院 血液内科 松本 洋典

京都第一赤十字病院 血液内科 杉谷未央

京都第一赤十字病院 血液内科 村松彩子

京都第一赤十字病院 血液内科 埜中広一

京都第一赤十字病院 血液内科 高谷茜

京都第一赤十字病院 血液内科 大内ふみか

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人・患者さんご本人の保護者または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。利用停止をお申し出いただいてもいかなる不利益を被ることはございません。なお、利用停止のお申し出は、2029 年 12 月までをお願いいたします。ただし、それ以前であっても、解析・結果の公表を行った場合などは、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

相談窓口

京都第一赤十字病院 血液内科 古林 勉

E-mail : tsutomu-kobayashi@kyoto1.jrc.or.jp

〒605-0981 京都市東山区本町 15-749

電話 075-561-1121（代表） FAX 075-561-6308